

ち づ 智頭 議会 だより



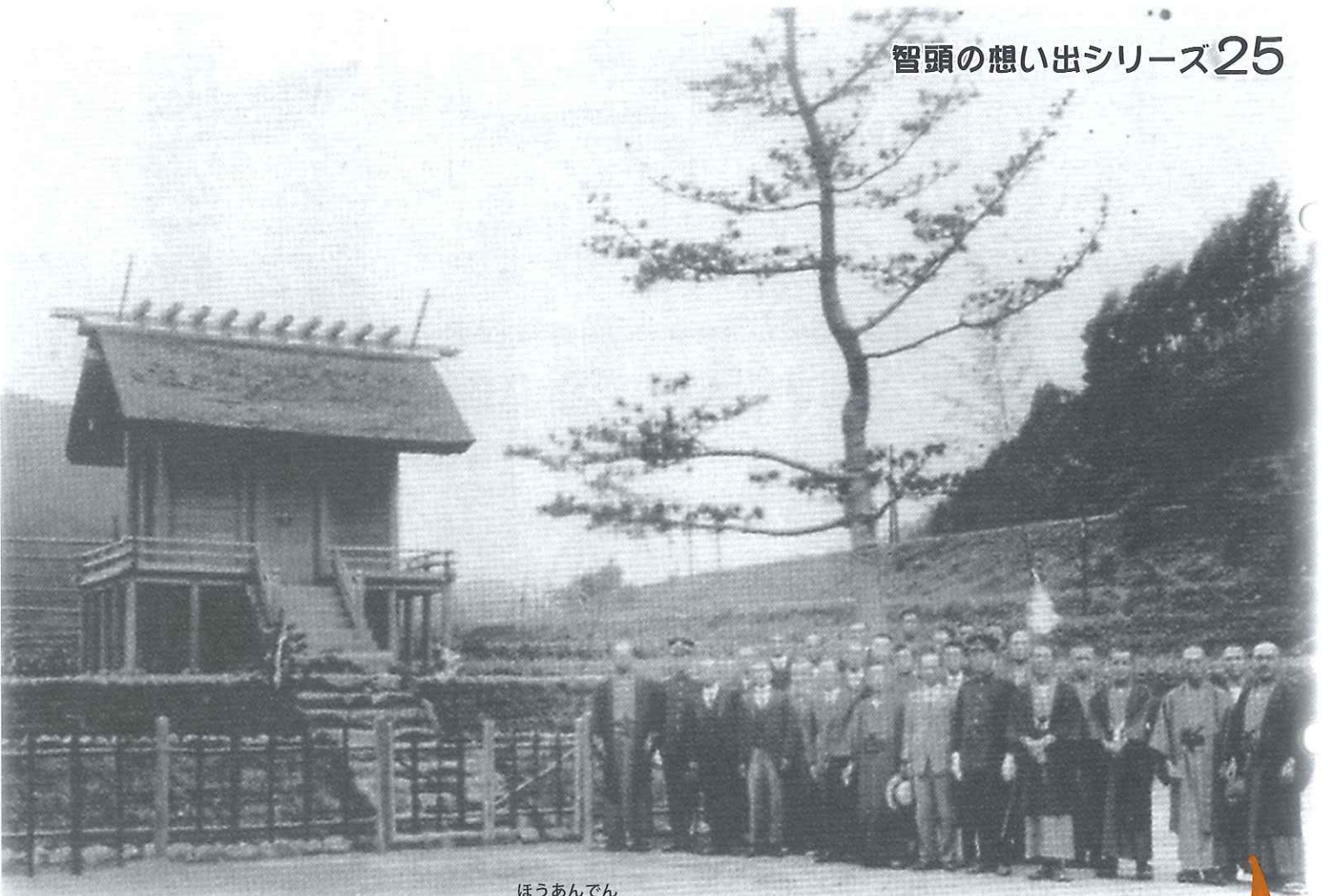
町の花
どうだんつじ

鳥取県智頭町議会

第136号

発行：平成28年10月21日

智頭の思い出シリーズ25



ほうあんでん
旧那岐小学校の奉安殿（昭和14年の式典・赤堀辰雄氏提供）

平成27年度

☆ **決算を認定** …P2~3

☆ **7人の議員が町政に質問** …P5~P11

☆ **ご意見の回答です(議会報告会)** …P12~P13

☆ **委員会報告** …P14~P15

☆ **町民の声** …P16



那岐神社境内へ移設され、智頭町の登録文化財に指定されています。秋の例大祭では境内で踊りや露店で賑わいます。

厳しい財政状況下での貯金増を評価

9月定例会

平成27年度決算を認定

9月定例会（9月9日から23日）で執行部提出の平成27年度決算12議案、平成28年度補正予算案5議案、人事1議案、契約締結2議案ほかを審議し、賛成多数で原案どおり可決しました。一般質問には7人の議員が町政をただしました。（5～11ページ）

町の借金(町債)が増えましたが、貯金(基金)も増えました

区分	平成27年度末	前年度との比較	主な理由
借金	66億5000万円	▲増 2億9400万円	保育園建設事業
貯金	26億3000万円	▲増 2億3400万円	今後の財政を考慮し、財政調整基金を積み増し

(注)一般会計

黒字決算 一般会計決算(平成27年度)の概要

区分	決算額	差引	備考
収入	63億9100万円	2億5900万円の黒字	黒字額は平成28年度予算に繰越して活用
支出	61億3200万円		

主な質疑

■怠慢では

議員 社会教育委員協議会が2年続けて未開催だが、怠慢ではないか。
執行部 3月に計画していたが、予期せぬ事態が生じ開催できなかった。

■定着率は

議員 移住施策の成果として、定着率はどうか。
執行部 平成22～27年度まで176人が移住し、うち36人が転出した。定着率は約8割となる。



■利便性の向上を

議員 小型モビリティ（移動しやすい）車は、駅前には置いておくだけでなく、町内の集客施設に置くことで利用しやすくなるのではないかと。
執行部 運営主体の観光協会とうまく連携がとれるかが課題だが、検討してみる。



■経済効果は

議員 森林セラピー（平成27年度は約1400人を受入）の経済効果は。
執行部 セラピーを体験された企業経営者が、智頭町を気に入り、その後、市内への事業展開に繋がった事例もある。セラピー弁当の売り上げやガイド料などの集計も大切だが、金額では一概に換算できない効果もある。

■農業者に関心ない？

議員 農地中間管理事業の予算執行が少額だが、町内の農業者はこの事業に関心がないのか。
執行部 PR不足も要因と思うので努力する。

■しっかり活用を

議員 歴史の道（志戸坂峠の智頭往来）の整備は重要であり、活用をしっかりと行うべきだ。
執行部 災害復旧工事を鋭意実施しており、隣接する岡山県西栗倉村とも連携して一層活用できるように努める。



智頭町役場 正面玄関側

持続可能な財政運営を

監査意見

代表監査委員

小林 新



監査委員

(議会選出)

中野 ゆかり

主な意見

■一般会計

財政の硬直化が進んでい
る。人口減少等に伴う税
収減、公債費（借入金返
済）と公共施設改修等の
投資的経費の増加が予想
される。貯金を取り崩し
て対応せざるを得ない財
政状況が予想される。

■特別会計

国保税や介護保険料等は、
負担の公平性確保のため、
収入率向上に向けた取り
組みを一層強化すること。

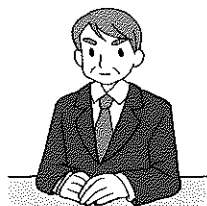
■水道事業会計

有収率（配水量と収益
水量との比率）が70%の
ため向上に努めること。

■病院事業会計

病床利用率は91・8%と
前年度比で3・5%低下
しているが、平成21年に
策定した改革プランに概
ね沿った経営が行われて
いる。改革プランの最終
年度は平成27年度であり、
国のガイドラインに沿っ
て、早急に新改革プラン
を策定して経営改革を推
進し、経営の健全化に努
めること。

議会が執行部に
意見を言いました。



■収入

さらなる収入未済額（集
金が遅れている額）の減
少に努めること。

■支出

今後とも精度の高い予算
編成と的確な予算執行を
行うこと。

一般会計の 決算に 対する討論

反対討論 岸本 眞一郎

地区改良事業精算金の
一部が歳入として計上さ
れているにもかかわらず、
その根拠となる精算金残
高約2100万円が記載
されていない。これは決
算書以外の所で管理され
ていることになり、議会
のチェック機能や決算書
の信頼性が損なわれる。

賛成討論 高橋 達也

10数年前に議会も了解
した事務処理方法で、反
対議員も了解済み。今ま
での決算に反対せず、な
ぜ今回反対なのか、理解
に苦しむ。決算認定に直
接的な関係性がない。わ
からないことがあれば、
（執行部に）聞けば済む
ことである。

▼採決の結果、賛成多数
（反対1人）で認定。

【平成28年度予算の補正】 9月定例会 賛成多数(議長を除く出席者全員)で可決

区分	補正額	補正後の総額	主な補正内容	
一般会計	1億8874万円 増	70億6228万円	・社会資本整備交付金（1億1583万円） ⇒町道整備、橋梁点検など ・空き校舎等の利活用（1232万円） ・智頭材の出荷促進（2153万円） ⇒出荷量の増加に対応 ・年度後半の時間外勤務手当（364万円）	
特別会計	国民健康 保険事業	58万円 増	10億9371万円	・年度後半の時間外勤務手当 ・高額医療費共同事業拠出金の確定
	公共下水道事業	17万円 増	2億9843万円	・年度後半の時間外勤務手当 ・酸素欠乏等危険作業主任者技能講習料
	介護保険事業	2058万円 増	10億6071万円	・年度後半の時間外勤務手当 ・前年度介護給付費の確定による償還金
企業会計 水道事業	360万円 増	7421万円	・水源施設の修繕料	

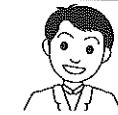
陳情の審査結果

賛成多数(議長を除く出席者全員)で可決

採択

次の2件については、陳情の趣旨を認め「採択」しました。

件名	提出者
① 真鹿野部落地内 桑村谷 水路改良に関する陳情書	真鹿野部落 世話人 寺坂 邦雄
② 穂見集落の危険箇所改善についての陳情書	穂見部落 世話人 林田 恒一



陳情書は定例会が始まる10日前

までに提出してください。

※詳しくは、議会事務局にお問い合わせください。

TEL 75-3115

■工事請負契約の締結(変更) 9月定例会 賛成多数(議長を除く出席者全員)で可決

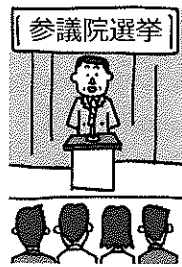
工事名	変更契約額	変更後の契約額	請負者	主な変更理由
智頭町立保育園用地造成工事	847万円 増額	6755万円	(有)國本建設	騒音、粉塵、安全対策

注：予定価格が5000万円以上の工事は、議会の議決が必要。

■物品購入契約の締結 9月定例会 賛成多数(議長を除く出席者全員)で可決

物品名等	契約金額	請負者	契約方法
消防ポンプ自動車(第3号車 山形分団)	2417万円	(株)吉谷機械製作所	指名競争入札

注：予定価格が700万円以上の物品購入は、議会の議決が必要。



議員提出議案(賛成多数)
国会、政府、主要政党、
県選出国會議員に決議
書を送付。

参議院選挙の
合区の見直し
に関する決議

平井早苗さん(新見)
平成28年9月30日で任
期満了。引き続き選任。
《賛成多数(議長を除
く出席者全員)で可決》

▼教育委員会委員

(執行部提出議案)

【地方教育行政の組織・
運営に関する法律の規
定により議会の同意が
必要】

人事案件

次ページから

一般質問について

一般質問とは、町政全般について町長などの執行部に疑問点を
ただし、所信の表明を求めることです。

- ※1 一般質問の内容は、質問者自らが要約・執筆したものを掲載しています。
- ※2 議会事務局で、住所・氏名を書いていただければどなたでも議場で傍聴できます。
人数に限り(24席)がありますのでご了解ください。

一般質問の録画をインターネットで見ることが出来ます。



9月定例会には13人の傍聴者がありました。

智頭町役場ホームページ ▼

トップ画面

智頭町議会
録画放送 ▼

トップ画面の下方の左側にあります

智頭町議会 ▼

智頭町議会録画放送 ▼

議員の画面をクリック

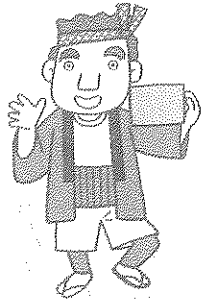


谷口 雅人

定住対策

町長／前向きに検討したい
住宅改修助成の今後は

問 平成26年町制施行100周年記念事業の一つとして実施された住宅改修事業は、地域経済に貢献し、定住策の一つとして町民の評価は高い。執行部より本年度限りと示唆する場面に触れた。移住者また定住者に対し智頭町は温かい目で公平に将来を見据えて行政は行っていることをアピールしていただきたいと願う。最近、建築現場で若い大工さん左官さんを見かける場面が



腕のいい職人さん出番待ち

多くなつた。事業効果も伝承されることにより、智頭町の木材が動く、あるいは智頭町の企業が動くという非常に意味のあることだと思っているが、その認識は。

問 実にデリケートではあるものの、その効果は絶大である「養子縁組」は養親子関係の成立に必要な合意と届け出とからなる法律行為と広辞苑は記している。この件は、家庭裁判所の所管であると思うが法的手続き以前の行政情報を持つ行政は一定の関与を持つべきではないか。実態と意向を調査する事から始め、行政の関与するこ

養子縁組

町長／行政が立ち入るべきではない
行政が関与する安心感

答 町長 定住の促進及び住民の住環境の向上並びに地域経済の活性化を図るために、3年間を期限として取り組みを実施、地域経済への貢献は大変大きい

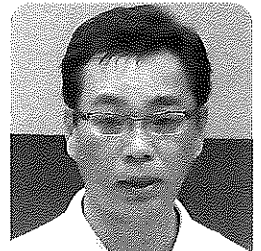
と認識している。住民からの継続要望を踏まえ、今後、助成金の額及び対象事業の見直しを含め、これは前向きに検討していきたいと考えている。

問 養子縁組の安心感とは、その効果の一端となるが、



血縁はなくても親子になれる

答 町長 私的行為に行政が立ち入るべきではないと考える。求められる調査など、行う考えはない。養子縁組に関する相談、悩んでいることには遠慮なく税務住民課の戸籍担当や法務局に相談されるように、誘導は当然、町としてやらなくてはいけない。



大河原 昭洋

水道水対策

町長／上水道施設は対策完了した

クリプトスポリジウム汚染対策は

問 人間に病原性を有するクリプトスポリジウム(注)に感染したシカの排泄物などから、私たちが日常使用している水道水源に混入した場合、住民に被害がおよぶ。野生動物からの水道水汚染が危惧されるがその対策は。

答 層ろ過方式で対策済み。残る1施設は本年度、紫外線処理装置の設置が完了した。簡易水道施設の検査も継続して実施しているが、対策施設設置は費用や維持管理の面を含めて検討中である。

答 町長 国のクリプトスポリジウム暫定対策指針の策定以降、定期的な検査は実施しており、本町の上水道3施設のうち2施設は多



野生シカ、人への感染も心配

読書体験

読み聞かせ必要性の認識は 教育長／読書に親しむ重要な入り口

問 絵本の読み聞かせは子どもの感性を豊かにし想像力を育てる効果があるとされているが、本町ではその必要性をどのように認識しているのか。

答 今後の読み聞かせの取り組みは、どのような視点で推進しているかと考えているのか。

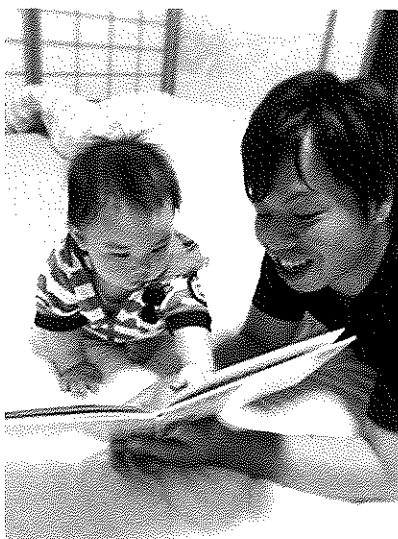
答 教育長 言語能力、学習能力の発達に良い影響があり、聴く力を育て相手の気持ちを理解する力も付く。読み聞かせは子どもと大人が最初に交わす温かな心のふれあいと認識している。

答 教育長 子どもが読書に親しむための入り口は家庭であり、まずは子どもたちを取り巻く大人が、読書活動の意義や大切さを知ってもらうことが重要と考えている。

問 地域、保護者ボランティアの方々は小学校に月2回の読み聞かせに参加されている。10年以上も地道に継続している人もいるが、本町の人材育成にどのような効果があるのか。

答 教育長 小学校では、子どもたちの目は生き生きとして興味深く本に聞き入っている。本町では保育園・小学校・中学校と図書の実践に力を入れており、結果、学力も徐々に上向いている。

(注)クリプトスポリジウム人、サル、シカなどの多種類の動物が口から体内に摂取すると消化管の細胞に寄生する。人が感染した時の症状は、激しい下痢や腹痛、嘔吐が1週間程度続く。



絵本だいすき、パパこれなあ〜に?



平尾 節世

防災 町長／現在5社と締結を協議中

災 民間との災害応援協定の推進を

問 近年、本町においては、大災害は発生していないが、いつ、どんな災害に見舞われるかわからない。不幸にして災害が起きた場合身近な協力体制が重要と思う。智頭町の災害応援協定は、県内や近隣市町村など、行政との締結は充実しているが、民間事業者との締結は、各分野を網羅しているとは思えない。もっと町内の民間事業者との締結を推進すべきではないか。



答 町長 大災害発生時には、自治体だけでなく民間の協力も必要である。自治体には無い専門的な技術や知識、資機材等を有していることから、広域的確な

応急、復旧活動が期待できる。さまざまな分野で企業や団体から協力を得るため、民間と応援協定を締結することとは有意義と考えている。現在、民間企業5社と協定締結に向け協議している。

問 近隣市町村では、食料や生活必需品の優先供給や運搬を内容に、民間との協定が結ばれている。相手があることだが、本町でもコンビニ・スーパー・商工会などの協定の必要性を感じている。

答 町長 大災害時には、さまざまなノウハウを有する民間の力を活用することは不可欠である。あらゆる面で災害対応能力を強化していく。

福祉施策

健康寿命を延ばすシステムづくりを
町長／各地区も福祉に目覚めてほしい

問 健康寿命を延ばすため、脳血管疾患や認知症を予防することは高齢社会の課題である。予防の基本となる食事の重要性を再認識する機会として、年に一回は各集落で、調理実習を含めた学習会を開催するシステムづくりをしてはどうか。

答 町長 健康寿命を延ばすためには、原因疾患の予防が重要なこととは十分認識している。さまざまな取り組みを実施しているが、地区も福祉に目覚めてほしい。各地区で食や運動などテーマを持って活動し、集落の福祉に繋がればよいと思う。



調理実習で学ぶ健康づくり



岸本 眞一郎

総合計画

次期計画の策定状況は

町長／町民と連携しながらビジョン描く

問 平成37年には智頭町の人口は5600人台で、また団塊の世代が後期高齢者になり医療、介護費など社会保険費が急増する2025年問題も含まれる第7次智頭町総合計画だが、策定のプロセス（＝過程）と現在の進捗状況は。

答 町長 これまで培ってきた智頭町の地域資源やそれに伴うさまざまなものを町民一人一人が認識し、連携し

ながら共通のビジョン（＝未来像）を描いていく。そのために開催する総合計画ワークショップ（＝検討会）では地区や各集落のニーズ（＝要求）とこれまでの町や各種団体が実施してきた取り組みを把握したうえで、連携を図りながらそれぞれの取り組みをつなげていく仕組みづくりを図っていく。

総合計画

満足度をあげる仕組みは

町長／集落アンケートや若者会議を実施

問 10年後の智頭町で大事にしたいものはなにか。

答 町長 10年後の智頭町を見据えたときに、今、国に金がない状況で福祉というテーマでは1回福祉サービ

スが停滞するとなかなかサービスというものは元気に帰らないという性質をもっている。そこで、お互に立ちあがって元気というテーマの福祉をやりましよう、そのような姿をめざしたいと思っている。

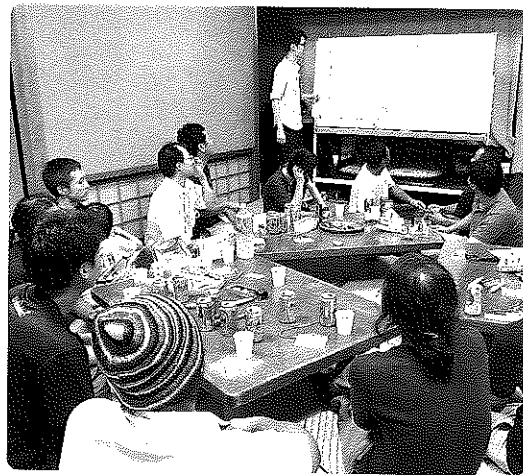
問 住民の満足度をあげるための、

多様な声を反映する仕組みは。

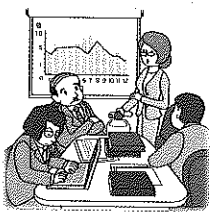
答 町長

既に各種団体200人からのヒアリングをはじめており、集落アンケートや若者会議を実施。

4月18日から26日まで世話人を対象として各地区説明会を開催して多くの住民の声を反映してきたところだ。



智頭町の未来を語る若者会議



総合計画の策定

問 現在の6次総合計画の達成度についての感想はどうか。

答 町長 百人委員会など本町が進めている住民との協働による町づくりをさらに加速させるとともに、町の活性化のために林業が元気になることや本物の農産物が重要視される様な気がするので、そういうことを続けていきたいと思っている。



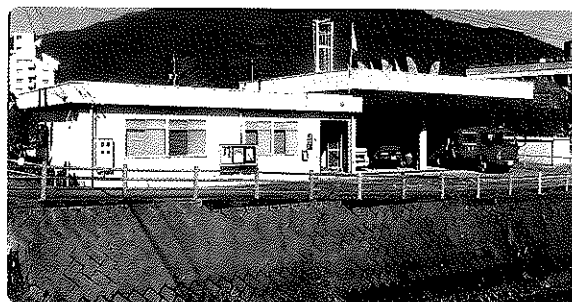
徳永 英太郎

消防体制

町長／早急に用地確保に努めたい

広域消防智頭出張所の整備は

問 昭和54年10月に開設された智頭出張所の建物は、耐用年数38年となっており、この10月で丸37年が経過する。2年前に行った質問では「耐震診断の結果や敷地面積、立地条件などを勘案し、新築移転が望ましい。候補地の検討に着手する。」と答弁されている。救急出動件数も、救急搬送人員もその後増加している。早期の新築移転は喫緊の課題である。現在の状況と見通しは。



現在の広域消防智頭出張所

答 町長 新築移転が望ましいとの判断から町有地を含め、国道に面した出動しやすい場所を中心に、移転に必

要な面積1000㎡程度の用地確保に努めてきたが、候補地が土砂災害特別警戒区域などであったり、用地交渉まで至らないなど、現段階で用地確保は進んでいない。来年度には

耐用年数である38年が経過するが、引き続き候補地の選定とあわせて周辺住民の方の理解もいただきながら、早急に用地確保に努めたい。

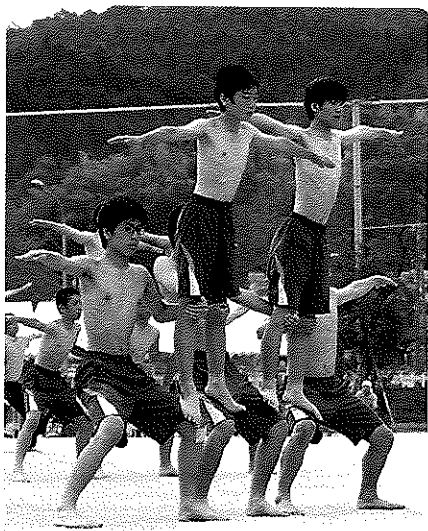
組み体操

安全確保のための指針は 教育長／小・中学校長と十分協議したい

問 運動会における組み体操は、その完成時は見ている保護者や観客にとって、大きな感動と勇気を与えてくれる。また、児童・生徒にとつては大きな達成感や喜びをもたらす。実施については児童・生徒の安全が最優先と考える。安全確保のための指針の策定についてどう考えているか。

答 教育長 組み体操は児童・生徒の表現力や団結力を育成する上で有用であると認識している。児童・生徒の

体格に合わせて、安全に配慮した演技内容を構成するとともに、指導教員の人数確保のもとで、常に安全に練習が行える指導体制を維持するよう勤めている。児童・生徒の体調・体力、運動能力を見きわめた指導を行い、安全面を最優先して実施している。指針の策定については、小中学校の校長とも今後十分協議したい。



中学校運動会の組み体操



中野 ゆかり

がく
通
2人めから通学費全額無料に
教育長／財政状況を見ながら協議する

問 通学時における芦津線・本谷線のバスは乗車数が多く、現在でも満車の状態である。今後3年間の児童・生徒数の推移を見ると、乗車数が増えることが予測される。この現状をどう思うか。また、今後の対策を問う。

問 まずは通学バスの実態把握をしてほしい。私はこれ以上人数が増えたら危険を伴うと思う。提案だが、現在本町では、高齢者を対象にした移送サービスを行っているが、通学に関する移送サービスを検討してはどうか。

答 教育長 本谷、芦津線のピークが平成25年に109人で、現在102人。これが徐々に増えていくが、109人にはならない。

答 教育長 10人乗り程度の小回りがきく車もあると便利だなとは思った。実態を見ながら考えていきたい。

問 中学生をお持ちの保護者から通学に関して様々な改善を求め、ご意見を聞いた。今後、PTAと中学校、教育委員会の三者が話し合い、ルールづくりをして

答 教育長 安全最優先で、学校や保育園関係機関と協議してまいります。

問 現在2棟家が建つた。今後どのように土地の活用を推進していく予定か。

頭
テク
土地活用の今後の方向性は
町長／区画を整備し住宅を建設していきたい

答 教育長 財政状況を勘案しながら、財政局と協議し進めてまいります。

問 2人めから通学費全額無料にしてはどうか。

答 教育長 住宅を建設していただくことも視野に入れた土地活用を考えている。



座席は満席、出入り口まで立っている状態の通学時のバス（郷原バス停）

答 町長 本年も新たに2棟整備する予定。また平成29年度に1棟整備し、その後は道路等のインフラ整備を優先させ、合わせて区画整備をしていきたい。将来的には区画整備した土地を無償提供し、



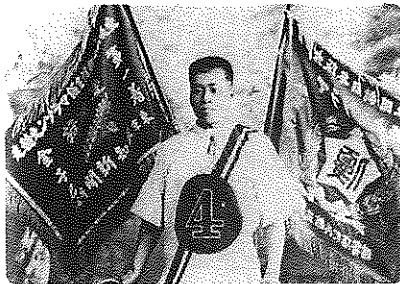
介護福祉施設と民家が2棟建った智頭テクノパーク



高橋 達也

あやき
綾木マラソン
教育長／住民から気運が盛り上がれば
復活をめざしてはどうか

問 町制施行100周年を記念して開催した民泊マラソンは、好評を博して今年で3回目の開催となるが、今後の発展的に改編し、平成16年をもって中止した綾木長之助杯マラソン大会の復活をめざしてはどうか。



「鳥取県人物伝」に紹介されている綾木長之助氏

答 教育長 綾木杯マラソン大会は、当時の事業見直し、古い運営方法、大会関係者の意向、国道の交通量増加などで中止した。

民泊マラソンとは、目的と性格に大きな違いがあり、総合的に考えると改編や融合は困難ではないかと思う。

問 違いは分かっただけで質問している。可能性はあると思う。中止

した理由が改善されるならば再開してもおかしくはない。できない理由ばかりでは思考停止になり前に進まない。再開は無理だと考えているのか。

答 教育長 無理だとは考えていないが、当時にはない課題があると思う。住民主導の事業なので、住民側から（再開に向けて）気運が盛り上がるのであれば、教育委員会として、協力なり後押しをさせていたいただきたい。

※綾木杯マラソン大会
日本マラソン界の先駆者である綾木長之助氏の偉業を讃え、昭和41年に発足した大会。町内外から多くのランナーに親しまれたが、道路事情などにより、平成16年の第39回大会で中止された。

かんばん
看板
ひょうしき
標識
いっせいでんけん
一斉点検し撤去・更新など対策を
さつきゅう てんけん
町長／早急に点検し対策を講じたい

問 智頭町が道路添いに設置している観光、啓発、道路案内などのさまざまな看板や標識があるが、設置された後、相当の年数が経過して、今日では意味合いが無くなってきているものなどが散見される。要するに設置後、手付かずのものが多いと感じる。

答 町長 私を含め職員の怠慢であり、恥ずかしい話だ。今一度、全てを点検し、撤去するものや再利用するものなど、早急に対策を講じたい。

問 標識や看板ではないが、駅前観光案内所の前にある柱祭りのモニュメントについて「いつまで置いておくのか」の声を聞く。再利用して、杉神社の三角形のご神体にして、駅前飾るのも一考だ。ボランティアでやっていただける方が出てくるかもわからない。早いうちに考えたほうがよい。これは答弁不要。



開業後すでに22年経過...リニューアルが必要な看板の一例

★ご意見の回答です★

町民と議会をつなぐ 『議会報告会』開催

5月18日から20日の3日間、議員が2班に分かれ、町内6地区に出向き、議会の活動を直接お知らせする議会報告会を開催しました。たくさんの意見や行政要望をお聴きしましたが、その場で説明できたもの以外は持ち帰り整理集約したものを町長へ提出し、回答がありました。(要旨を記載)



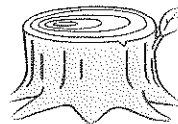
山形地区の議会報告会(5月20日)

移住定住

・自伐型林業の受講者は、町外・県外者が多いが、移住定住につなげるために優遇策が必要では。

(回答)

移住定住支援制度、林業新規就労支援事業、各種研修取得支援事業、林業技術講習受講及び林業機械導入など、既存の支援制度を活用してください。



保育園跡地

・統合保育園の建設に関し、現在の2園が立地する地元に対して、跡地利用を含めた説明が必要では。

(回答)

建設にあたり、地元世話人の方には説明を行い、跡地利用については方針決定後、再度説明を行います。

住環境

・空き家など危険な住宅の対策について、条例を作るべきでは。

(回答)

まずは、所有者で対策を講じていただくことになり。町の条例でどこまで対策が講じられるか、検討する必要があります。



・住宅改修事業(リフォーム助成)の事業継続と予算の増、及び抽選は透明性のあるものにすべき。

(回答)

3年間の事業効果を検証し、事業継続の検討を行います。また、本年度は公開抽選を実施しました。

・LED防犯灯設置事業は、今年度で終了するが、未実施の集落もあり、継続すべきでは。

(回答)

設置要望も多く、事業継続に向けて検討します。

防災

・災害時における仮設住宅の建設場所の候補地を、明確にした方がいいのでは。

(回答)

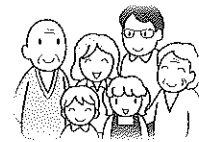
仮設住宅建設候補地(9箇所)は選定しており、今後地域防災計画の見直しの際に掲載します。

地域福祉

・健康ポイントについて、健康な人ほど医療費が少なくすむため、「健康で良かったね」というポイントを設けてもよいのでは。

(回答)

本年度から実施している健康マイレージ事業の効果を検証し、導入を検討します。



・居場所づくり事業は、今後町内各地区での事業展開が望まれるが、利用者の送迎を民間業者と組んでは。

(回答)

民間業者が少ない中で、送迎も含めて各地区での居場所づくり事業実施に向け、検討してほしい。

・防災福祉マップづくり事業(支え愛体制づくり事業)は、県の補助事業が今年度で終了するが、町内全集落のうち約半数は未実施であるため、事業継続が必要では。

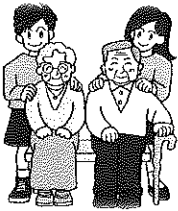
(回答)

要望集落も多いため、事業継続に向け検討しています。

・町職員が担当区域を決めて独居老人宅を巡回すべきではないか。町職員自らが汗をかくことに意義がある。

(回答)

職員が居住する各地区の状況等について、把握するよう努めます。



情報公開

・AEDが設置してある場所を全町範囲で公開してほしい。

(回答) AED II 自動体外式除細動器

防災ハザードマップに掲載し、ホームページで公開しますが、広報誌等も含め検討します。

人事・人材交流

・土木・建築技術職員の養成について、コンサルタント任せでの現場監理体制は経費面でも疑問があり、現場に精通した人材を活用すべき。

(回答)

土木技師、土木専門員を採用して、人材養成を図っています。



・八頭郡3町の職員との人材交流を行ってはどうか。他町の仕事を体験することにより、仕事のやり方など勉強になるのでは。

(回答)

現在、3町合同研修会や各担当ごとの研修会を実施し、スキルアップ(II 技量の向上)を図っており、引き続き研修を充実していきます。

全集落回り

・役場執行部による集落回りが以前1回行われたが、もう実施しないのか。

(回答)

本年度は、各地区ごとに懇談会を開催しますが、各集落から要望があれば出かけて行きます。

※詳しい内容は議会事務局へお問い合わせください。 ☎75・3115

行政評価の対象事業の抽出や
保育園建設現場の視察など

7月7日

行政評価に係る
事務事業の評価対
象事業の抽出を行いました。
当委員会の行政視察につ
いて意見を聞きました。

内示額（8月2日付）

自伐林家養成事業

2350万円

人材再生駐屯地事業

3861万円

計6211万円

8月1日

税務住民課から
可燃物処理場の問題
について地元協議会と協議
が整った旨の報告を受けま
した。

地方創生推進交付金

(補助率1/2)

育みの郷事業

事業費1900万円

交付金 950万円

行政評価に係る事務事業
の対象事業の見直しを行
いました。

9月16日

決算総務分科会
で所管部分について審
査を行いました。
午後、保育園建設現場を
視察しました。

8月29日

総務課から地方
創生事業について説
明をうけました。
地方創生加速化交付金
(第2次) (補助率10/10)

申請額

自伐林家養成事業

2750万円

人材再生駐屯地事業

4061万円

計6811万円



保育園建設現場を視察

「県広報研修」
わかりやすく
議会らしく

議会だよりの内容の充実
と編集技術の向上に資する
ため、鳥取県町村議会広報
研修会に参加しました。

研修日 8月26日

場所 湯梨浜町

参加者 国民宿舎水明荘

講師 委員全員(5人)

吉村 潔氏

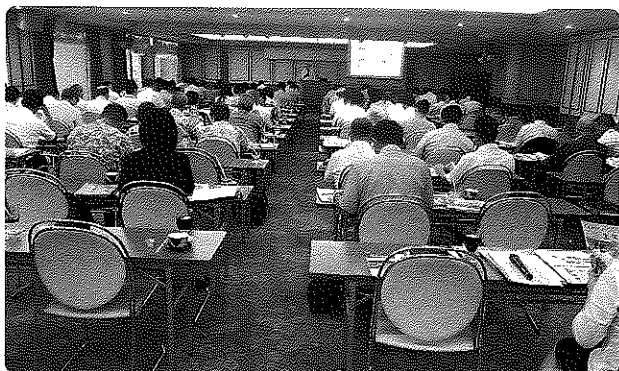
(広報アナリスト)

研修内容

- ▼住民と議会との意思の疎通を図り、相互信頼を培うため、議会広報紙の一層の内容充実
- ▼編集の基本姿勢(議会広報らしい視点)
- ▼智頭町議会だよりを含む県下の町村議会が発行した議会だよりの13紙のクリニック(診断)

参考になったこと

- ▼予算の可決でも、議会広報らしい視点で
- (例)見出し「子育て支援に重点配分を評価」
- ▼結果だけでなくプロセス(過程)を伝える
- ▼評価、検証する
- ▼目を引く「視覚的ポイント」をつくる



県内の町村議会広報委員会が参加しました

介護予防の先進施設などを視察

■視察日：平成28年

7月19日・20日

■視察地

①兵庫県宝塚市

リハプライド宝塚米谷

②大阪市西区南堀江

大阪木材仲買会館

③三重県伊賀市西湯船

(株)伊賀の里モクモク

手づくりファーム

■視察目的

町政の重要課題である福祉と農林業の進展を図るため、先進施設を視察し、介護保険要支援事業の受け皿づくり・木材の販路拡大・農畜産物の6次化システムや手法を学び、本町の施策に役立てるため。

※1次(生産)、2次(加工)、3次(販売)を「たし」ても「かけ」ても6になる造語

■概要

①リハプライド宝塚米谷

リハプライドの特徴は個々の体力、体調を見ながらトレーナーが負荷の調整をし、6種類の運動器具で立つ・座る・歩くの初動対応力をつけることが目的とされています。要介護度の悪化予防・改善効果がデータで裏付けられていることは大きな成果と思われました。

②大阪木材仲買会館

会館は、健康や環境面で優れた機能を持つ木材の有効性を、幅広く社会に発信する建造物展示施設として作られました。耐火集成材の柱や、カナかけをした薄材をガラスの間に入れ、木の表情を活用するなど、新しい利用方法を学びました。

③(株)伊賀の里モクモク手づくりファーム

この施設は製品の手間暇・労力に見合う価値を付けて販売することが原点でした。理事長が「今後、生産からもの作り、販売、サービス、教育(食育学習・貸し農園)と常に農業と向き合い、新しい価値の創造に挑戦することが私たちの役割です。」と語られたのが印象的でした。

■まとめ

リハプライドの介護予防を目的としたデイサービスは、智頭町において高齢者の進展と介護サービス利用者の増加が予想される中、必要になることと思われませんが、機能訓練指導員の確保が課題です。また林業・農業を軸とした町づくりをしている本町にとって、木材

農畜産物の生産販売を一体化した取り組みを強化することで、雇用の場を作り、若者の定住移住に繋がると感じました。

■8月22日、9月15日も委員会を開き、所管各課の報告、行政評価の事業抽出、陳情の審査等を行いました。



①リハプライド宝塚米谷



③(株)伊賀の里モクモク手づくりファーム

地域とお寺のつながり

ぶじょうじ 豊乗寺 住職 平井明博さん めいはく



富沢地区振興協議会では、キクラゲを栽培し販売する準備を進めています。そして、数年後には富沢の住民だけでなく、色々な方が集まり団らんでできるコミュニティ（＝地域共同社会）施設を建設する予定です。

近年は、高齢かつ過疎化が進んでいる時代です。隣や近所だけでなく、もっと大きな視野で助け助けられる環境が必要になってくるでしょう。人と人、心と心の深いつながりは一朝一夕で出来るものではなく、イロハから積み上げて行くものではないでしょうか。このコミュニティ施設を拠点として、今までの富沢にはない素敵な関係とすばら

しい出会いがうまれることを期待しています。

また、お寺でもそういう役割を果たしていきたいと考えています。昔のお寺は地域における教育や福祉・文化の拠点としての役割を担っており、今のような葬祭・布教だけの場ではありませんでした。

今の時代だからこそ昔のお寺のあり方が必要なのではないか。そう考えていた時に、富沢地区振興協議会のもみじ祭り、箆こよみ富会とみのサマースクールや満月バーなどイベント開催のお話を頂きました。

サマースクールは、毎年7月に開催し、子どもたちを集めて写経体験や八十八ヶ所地藏巡り、流しそうめんやバーベキューなどをしています。満月バーは、9月頃に開催される十五夜のイベントです。

これらの会を重ねる度に深まる信頼関係と、お互いに協力し合う「おかげさま」の心。そして、主催者の皆様はもちろん、関係者やお越し頂いた皆様とのご縁に心より感謝しています。

今後とも、智頭町の活性化のために協力致しますので、お寺を大いに活用ください。

■訂正とお詫び■

前135号の記事中、次のとおり誤りがありましたので、訂正しお詫び申し上げます。

15ページ
上から2段目左側
5月10日の記事
中
2〜4行目

【誤】

「二人あたりの国民健康保険税額は、1万4272円」

【正】

「二人あたりの国民健康保険税の基本額は、年間約10万4千円」

編集後記

実りの秋たけなわ、『議会だより』が皆様のお手元に届くころには各地で収穫を祝う秋祭りが行われたことでしょう。▼9月定例会では平成27年度の決算審議が行われましたが、今、全国的に議員の政務活動費の不正受給など、お金の使われ方が問題となっています。▼智頭町議会には政務活動費という制度はありませんが、情報公開が求められる世の中にあつて、全戸配布の議会だよりの果たす役割は大きいものがあると思います。▼これからも町民の皆様に分かりやすい表記と親しみやすい紙面の作成を心掛けていきます。（大河原）

編集 議会広報常任委員会

- 委員長 高橋 達也
- 副委員長 岩本富美男
- 委員 谷口 雅人
- 委員 岸本眞一郎
- 委員 大河原昭洋
- 発行責任者 議長 酒本 敏興